

## リード芦屋新聞

発行元  
芦屋市立第一中学校  
芦屋市立第二中学校  
芦屋市立第三中学校  
芦屋市立第四中学校  
芦屋市立第五中学校  
芦屋市立第六中学校  
芦屋市立第七中学校  
芦屋市立第八中学校  
芦屋市立第九中学校  
芦屋市立第十中学校  
芦屋市立第十一中学校  
芦屋市立第十二中学校  
芦屋市立第十三中学校  
芦屋市立第十四中学校  
芦屋市立第十五中学校  
芦屋市立第十六中学校  
芦屋市立第十七中学校  
芦屋市立第十八中学校  
芦屋市立第十九中学校  
芦屋市立第二十中学校  
芦屋市立第二十一中学校  
芦屋市立第二十二中学校  
芦屋市立第二十三中学校  
芦屋市立第二十四中学校  
芦屋市立第二十五中学校  
芦屋市立第二十六中学校  
芦屋市立第二十七中学校  
芦屋市立第二十八中学校  
芦屋市立第二十九中学校  
芦屋市立第三十中学校  
芦屋市立第三十一中学校  
芦屋市立第三十二中学校  
芦屋市立第三十三中学校  
芦屋市立第三十四中学校  
芦屋市立第三十五中学校  
芦屋市立第三十六中学校  
芦屋市立第三十七中学校  
芦屋市立第三十八中学校  
芦屋市立第三十九中学校  
芦屋市立第四十中学校  
芦屋市立第四十一中学校  
芦屋市立第四十二中学校  
芦屋市立第四十三中学校  
芦屋市立第四十四中学校  
芦屋市立第四十五中学校  
芦屋市立第四十六中学校  
芦屋市立第四十七中学校  
芦屋市立第四十八中学校  
芦屋市立第四十九中学校  
芦屋市立第五十中学校  
芦屋市立第五十一中学校  
芦屋市立第五十二中学校  
芦屋市立第五十三中学校  
芦屋市立第五十四中学校  
芦屋市立第五十五中学校  
芦屋市立第五十六中学校  
芦屋市立第五十七中学校  
芦屋市立第五十八中学校  
芦屋市立第五十九中学校  
芦屋市立第六十中学校  
芦屋市立第六十一中学校  
芦屋市立第六十二中学校  
芦屋市立第六十三中学校  
芦屋市立第六十四中学校  
芦屋市立第六十五中学校  
芦屋市立第六十六中学校  
芦屋市立第六十七中学校  
芦屋市立第六十八中学校  
芦屋市立第六十九中学校  
芦屋市立第七十中学校  
芦屋市立第七十一中学校  
芦屋市立第七十二中学校  
芦屋市立第七十三中学校  
芦屋市立第七十四中学校  
芦屋市立第七十五中学校  
芦屋市立第七十六中学校  
芦屋市立第七十七中学校  
芦屋市立第七十八中学校  
芦屋市立第七十九中学校  
芦屋市立第八十中学校  
芦屋市立第八十一中学校  
芦屋市立第八十二中学校  
芦屋市立第八十三中学校  
芦屋市立第八十四中学校  
芦屋市立第八十五中学校  
芦屋市立第八十六中学校  
芦屋市立第八十七中学校  
芦屋市立第八十八中学校  
芦屋市立第八十九中学校  
芦屋市立第九十中学校  
芦屋市立第九十一中学校  
芦屋市立第九十二中学校  
芦屋市立第九十三中学校  
芦屋市立第九十四中学校  
芦屋市立第九十五中学校  
芦屋市立第九十六中学校  
芦屋市立第九十七中学校  
芦屋市立第九十八中学校  
芦屋市立第九十九中学校  
芦屋市立第一百中学校

## 可能性を感じた市民力

2023年5月、芦屋市長に高島峻輔さんが就いた。26歳での市長就任は史上最年少で、その手腕に全国的から注目が集まる。力を入れて取り組むことや市長を志した理由などについて高校生記者がインタビューした。4回に分けて掲載する。

## 高島市長にインタビュー

「芦屋市のどのあたりに可能性を感じたのですか？」

「幅広い世代で自分のま

「幅広い世代で自分のま



「幅広い世代で自分のま

## 進む少子高齢化「解決策探る」

「芦屋の魅力を見せてください。」

「市民力の高さです。市長になり、あらためて市民生活を支えてくださる市民の多さを実感しました。例えば保護司。刑務所から出てきた人の社会復帰をサポートする方々です。それを



「便利なまちですが、出生率が低下し、少子高齢化が進んでいます。残念なことに阪神間でも先頭のほうを走っている状態で、その解決策を見つけるのが大きな課題です」

「写真は初登庁し、あいさつをする高島市長」

## デジタル化「選択肢」増やす

市民の困りごとに対応

「高齢者が多い中でデジタル化をどのようにして進めますか。」

「デジタル化は、選択肢を増やすことでもあると思います。つまり、何でも紙をやめてデジタルにするのではなく、選択肢としてデジタルがあり、それを使うと便利なので、やりませんか、という形が大事だと思います。スマホ講座などでデジタルに触れる機会を増やし、意外と便利だと理解してもらえればと思います。紙でないと思われ、人もいれば、デジタルがよいと思う人もいます。市役所が開いている時間に来られず、困っている人もいます。困っている人の声を反映できるように選択肢を増やすことが大切だと思います」